

Position Statement

WMA 台北宣言 (DoT) 改訂に関する 第2回公開専門家会議組織委員会に対する立場表明*

2026年3月5日にサンパウロで開催される会議, 続いてバチカンとノルウェーで議論される予定である世界医師会(WMA)のヘルスデータベースとバイオバンクに関する倫理的配慮に関する台北宣言(DoT)の改訂に関する立場, またDoTを見直すWMA作業部会におけるイスラエル医師会代表の存在を否定する立場を表明する。

To the organizing committee, Second Open Expert Meeting on the Revision of the WMA Declaration of Taipei (DoT)

Position in relation to the revision of the Taipei Declaration (DoT) on Ethical Considerations regarding Health Databases and Biobanks of the World Medical Association (WMA) that will be discussed in meetings in São Paulo (5-6 March 26), then in the Vatican and Norway, and in repudiation of the presence of representatives of the Israel Medical Association in the WMA working group that reviews the DoT.

Dirceu Greco, Professor Emeritus, Infectious Diseases and Bioethics, Federal University of Minas Gerais and Associate Member of the AMM

Marisa Palacios, Full Professor of Bioethics, Federal University of Rio de Janeiro

Nilza Maria Diniz, Department of General Biology, Londrina State University

Liliana Virginia Siede, coordinator of the Master's Program in Bioethics at the University of the Argentine Social Museum

訳 栗原千絵子 (「臨床評価」編集長)

Translated by Chieko Kurihara,

Editor-in-Chief, *Clinical Evaluation*

* 本立場声明は、2026年3月5日に筆頭著者から、世界医師会 (WMA 又は AMM) による台北宣言の改訂に関する第2回公開会議の組織委員会およびWMA事務総長に電子メールで送付された。同日にスペイン語メディアにより全文が以下のように公開された。VIOMUNDO Diario da Resistencia. Bioeticistas repudiam participação de Israel na revisão da governança ética de políticas públicas mundiais. 2026年3月5日。 <https://www.viomundo.com.br/denuncias/especialistas-em-bioetica-repudiam-participacao-da-associação-medica-de-israel-na-revisão-da-governança-ética-de-políticas-públicas.html>

原文から一部形式修正した英語版・日本語版を本号ウェブサイトに掲載している。

https://cont.o.oo7.jp/54_1/54_1contents.html

世界医師会（WMA）が採択した台北宣言（DoT）¹⁾は、近年特にデジタル技術や人工知能といったメタテクノロジーの進歩により多くの課題に直面し、現在改訂が進められている。

DoTは医師の声明でありながら、識別可能なデータや生物由来試料の倫理的利用を定義し、研究者、医師、医療チームメンバー、組織が、個人の健康情報を倫理的・安全かつ尊重して取り扱い、正確かつ透明なガバナンスを確立するためのグローバルなガイドラインとして用いられている。

国家および国際レベルでの公共政策の提案と倫理的ガバナンスは、人間の尊厳と人権の尊重を必要としており、これらは人類集団の意図的な破壊とは相容れない価値観である。

また、イスラエル軍がガザで行った残虐行為には、約2,000人の医療従事者の殺害、病院や医療施設への組織的な攻撃、そして数万人のパレスチナ民間人の殺害が含まれていると指摘されている。WMAと医学コミュニティ全体は、これらの無私の個人を支持する立場に対して沈黙するか、十分な立場を取らず、パレスチナ人を明確に擁護することができていない。国連人権理事会報告書A/80/184（2025年7月17日）は、2023年10月から2024年6月の間に殺害された500人の医療従事者に対する即時かつ公平な調査と、国連人権高等弁務官事務所による「加害者の責任追及」を求めている。

このため私たちはイスラエル医師会（IMA）がDoT改訂作業部会の一員としてこれを主導している事実により、サンパウロでの会議に対し公式に否認と不参加を表明する。そして南アフリカ医師会（SAMA）の立場を支持する²⁾。SAMAはIMAとの専門的かつ二国間の関係を停止し、WMAに対してイスラエルによるガザの医療システムへの継続的な軍事攻撃の中でIMAが医療倫理を維持できていないことを指摘しIMAの会員資格停止を求めた。医療倫理の体系的な違反に直面しても中立を保つことは共犯と同等である³⁾。

さらに私たちは、時宜を得た変化についての議論、各国のあらゆる層の人々にとって関心のある議論において、透明性とすべての関係者の幅広い参加の必要性を指摘する。その中でも特に、先住民族、患者・研究参加者の代表、そして最も排除され脆弱な層の人々の参加を確保することが不可欠である。また、WMAが提案するすべての会議（台湾、ブラジル、バチカン、ノルウェー）の議論は同時進行で公表され、広く公開の協議を通じて参加できるようにすべきことを強調する。

文 献

- 1) WMA Declaration of Taipei on Ethical Considerations regarding Health Databases and Biobanks.
<https://www.wma.net/policies-post/wma-declaration-of-taipei-on-ethical-considerations-regarding-health-databases-and-biobanks/>
- 2) South African Medical Association severs ties with Israeli counterpart and calls for wider shunning of the group. *BMJ*. 2025; 391:r2129 – accessed at <https://www.bmj.com/content/391/bmj.r2129>
- 3) Greco D. The horrific health crisis in Gaza – the World Medical Association and the entire medical community must unequivocally support healthcare professionals and advocate for the end of atrocities perpetrated by the Israeli government. *S Afr Med J*. 2025; 115(11):e4397. <https://doi.org/10.7196/SAMJ.2025.v115i11.4397>